

期 昭和五八年五月九日〜二十八日
於 図書館三階閲覧室（本館）

実践女学校創立記念展

五月七日は本学の創立記念日にあたり、創立当時の本学を写真、その他の資料を使って、ふり返ってみたい。

(1) 私立実践女学校女子工芸学校設立認可願 (下田歌子関係資料 一八八三)

写真 一二三枚。原本 東京都公文書館所蔵。明治三二年四月一日付。
設立者下田歌子で、東京府知事千家尊福宛にだされたもので、認可願のほか、運動場及び校舎図・経費
予算書・設立者及び教員履歴書・規則書・下婢養成所認可願などが一綴。

(2) 下田歌子書簡（品川弥二郎宛） (下田歌子関係資料)

書簡一通（写真八枚）原本 国立国会図書館憲政資料室所蔵。明治三二年四月一日付。
この書簡には、「学校も府の認可下り次第開き・・・」という箇所があり、学校設立に活発に行動して
いたことをうかがわせる。

(3) 実践女学校女子工芸学校記念絵葉書 (下田歌子関係資料 一七一五)

一組一〇枚（写真複写） 明治四〇年頃
この絵葉書一枚から校舎が推測できる。他の九枚は、卒業式及び展覧会のスナップ写真の絵葉書である。

(4) 実践女学校創立一〇周年記念絵葉書 (下田歌子関係資料 一〇四〇)

一枚 色刷り 記念スタンプ捺印 明治四二年三月二七日付。

(5) 初期の校服用した生徒 (下田歌子関係資料 一八六四)

写真一枚 大正四年撮影 生徒は高等女学校一年生。この校服用は大正一二年まで着用された。

(6) 実践女学校専門部生徒（家政科一年生） (下田歌子関係資料 一八七〇)

写真一枚 大正五年七月三日 青山 木原宅にて撮影。

(7) 初期校服用の端裂及び卒業生の誓いの詞 (下田歌子関係資料 一八六三)

端裂三枚、騰写版二枚。 大正頃
この校服用の端裂は、卒業記念に各自に渡されたもので、卒業生は大切に保管していたという。また誓いの
詞は、毎年卒業式直後、新卒業生が天皇陛下の御真影の前で、宣誓式を行った。その時の誓いの詞。

(8) 実践女学校旧校歌楽譜 (下田歌子関係資料 六八七)

B5版 二折 一枚。下田歌子作詞 沢田孝一作曲。

この校歌は、昭和七年に下田校長が改詞する以前の校歌である。この校歌を時代にふさわしく改詞した
ものが現在の校歌である。

(9) 実践女学校附属幼稚園の園児たち (下田歌子関係資料 一六一二)

写真三枚 明治四三、四四年撮影

1 実践幼稚園の園児たち 明治四三年秋 第一運動場にて。細かい矢絣の制服、衿の紐飾は赤。オルガンを弾いているのは森まる教諭。

2 実践幼稚園の園児たち 明治四三年頃。

3 実践幼稚園卒業記念 明治四四年四月 実践女学校正面玄関前にて。二列目中央下田校長、右隣は青木文造副校長、後横向きは森まる教諭。

(10) 清国留学生部写真 (下田歌子関係資料 一八六九)

写真三枚 明治三九、四〇年撮影

椅子にこしかけているのが、舎監坂寄美都子・松元晴子、後列に立っているのが、留学生である。彼女たちは、日常、下着から一切日本服を着用させられていた。